

////////////////////

中学受験 田中貴.com通信

2019年9月26日号

////////////////////

田中貴です。

模擬試験が始まり、いろいろ結果が出てきているでしょう。

良い成績が出ているならば、夏の勉強がうまくいったので、この調子でさらに進めてもらえばいいわけですが、成績が悪かったからといって落胆することはありません。

夏の勉強で、明らかに混乱する子は増えるのです。

今まであまりわかっていなかったから、選択するものも少なくて済んだのですが、いろいろ知識が増えるから悩む。

え、あれだったかも、ということで間違えたりするのです。

それを経験するからこそ、正しいことがわかる。
失敗するから成功するのです。

入試で失敗させたくないのだから、今のうちにたくさん失敗をしてもらった方が良い。
今のうちの失敗ならすべて成功の原因にすることができます。

合格可能性なんて、これから上げればいいのです。どうやって成績を上げるのか、
具体的な方策を親子でいっしょに考えていきましょう。

=====

□時題 個々の対策を確実に実行する

=====

6年生はいよいよ追い込みに入ってきました。しかし、いろいろな課題が見つかるかもしれない。

過去問がまだ十分にできていない。学校の出題傾向が飲み込めていない。

頻出する問題に対する対策が具体的に決まっていらない。

などなど。

ただ塾に通っている、というだけではなかなか解決しない個々の課題を、具体的に解決していく時期に入っています。

私が教えているフリーダム進学教室の「学校別スタディールームオンライン」はその意味ではなかなか便利です。

ZOOMというアメリカのテレビ会議システムを使っていますが、パソコンの画面を子どもたちと共有できるのが強み。

子どもたちがやった過去問の結果や模試の答案をPDFにして送ってもらい、子どもたちに見せます。

問題用紙を見ていると、子どもの欠点がすぐわかります。
もう何がどこに書いてあるのか、わからない。これではミスがでるのも当たり前の話。

だから、式の書き方や問題の確認の仕方などもひとつひとつ説明できます。

過去問のわからないところを教えたり、WEB学習システムの「学校別バインダー」を使って出題傾向に合わせたテーマの学習を集中することもあります。

先日は人体が今一つ飲み込めていない子にビデオ教材を使いながら集中して補習をしましたが、これも実に便利です。

しかも子どもたちは自宅にいて指導ができるので、わざわざ夜出てくることもないし、また、途中でちょっとおなかを満たすことも簡単です。

家庭教師を迎えるというわけではありませんから、ご家庭が気を遣うこともありません。

これからは子どもたちそれぞれの課題を解決していかなければならない時期ですから、やるべき内容をしっかり絞り込んで、集中して学習をしてください。

なお、具体的な学習内容についてのご相談を受け付けております。ご相談は無料ですのでぜひ、ご利用ください。

お問い合わせ
平日14時～19時
電話番号 045 (530) 5480

メール info@freedomsg.net

ミスが減らす

模擬試験の直しをしていると、本当につまらないミスが見つかります。

計算間違い、問題の読み違い。正しいものを選んでではなく、間違っているものを選べなかった、などなど。

まあ、よくこんなに間違えるな、と感心するぐらいですが、しかし、子どもたちはこれまでだって試験はたくさん受けてきたのです。

にもかかわらずこんなに間違うのはなぜか。

それは、やはり入試が近づいてきて、範囲が無制限になり、いろいろとうろ覚えのことが出てきたこと。さらには、点数をとることに対してプレッシャーがかかってきた、ということなのです。

だから、具体的にミスを防ぐ方法を練習していかなければなりません。

絶対にやってほしいことのひとつは、答えが出たらと思ったら、もう一度問題を確認すること。

A君の分速なのか、駅～公園までの距離なのか。解いていくうちに何を求めるのか、わからなくなっていたり、思い違いをしたりしているものです。

これだけでも大分、ミスは減ります。その他、子どもたちのミスの傾向を知ることによって、具体的な策はあるでしょうから、それを決めて普段の過去問の練習や模擬試験で実践するのです。

それでもなかなかうまくいかない時もあるでしょうが、少しずつ解決していけばいいので、具体的な策を決めていきましょう。

親子で楽しく勉強する

フリーダム進学教室のカリキュラムは4年生の3学期から始まります。

が、カリキュラムが2年間というだけなので、実際にはペースを考えながら、ゆっくり進めることもできるのです。

先日、ある4年生がお父さんといっしょにフリーダムのWEB学習システムを使って勉強を始めました。ちょっとスタートは早いのですが、通っていた受験塾をやめてしまったので、新たなやり方を始めたい、ということで勉強を進めています。

WEB学習システムには、テキストと授業動画、さらに演習問題がセットされていて答えを入力すれば、答え合わせもできるようになっています。

なので、テキストを印刷して、動画授業を見ながら、本人がまず勉強してみる。

さらにお父さんと一緒に問題を解いて、理解しているかどうかを確認する。というスタイルで勉強を始めました。

これが、結構本人には楽しい。何より塾に行かずにお父さんと一緒に勉強できるのが楽しいのです。

中学受験は親子の受験ですから、親子で勉強するのは決して悪いことではありません。ただ、だんだん親子関係が険悪になってくるケースもあるので、こればかりは親の方がコントロールしていかないといけない部分があるのですが、まずは楽しくスタートできれば、それに越したことはない。

塾に通うことばかりを優先するのではなく、まずは親子で楽しく勉強する過程を作ってみてください。

フリーダム進学教室WEB学習システムは無料体験ができます。

お申込は以下のページをご覧ください。
<https://ck.freedomsg.net/users/signup>

文化祭

これから文化祭のシーズンに入ります。

これまでも志望校の文化祭に行っているわけだから、今年もういいかな、と思われるご家庭も少なくないでしょう。特に模擬試験なんかが入っていると、犠牲になる場合もあるのですが、本来はここで行かずしてどうする、みたいなどころがあるのです。

まず、面接があるところは絶対、でしょう。

受験生と学校の接点はそう多くはありません。そのために文化祭を公開しているわけだから、学校としても子どもたちがどう感じたのか、あるいは入学後文化祭やクラブ活動にどんな希望を持っているのか、聞いてみたいところがある。

しかし、「行ってません」と言われるとやはり少々がっかりするところはあるでしょう。

それに子どもたちのモチベーションを高める意味でも、数時間文化祭を楽しむことは大きなメリットがあると思います。

来年はここでこんなことをしているかな、というような想像は子どもたちのやる気を引き出します。

ですから、忙しいスケジュールであるとは思いますが、しっかり文化祭に行けるように計画してください。

模擬試験は他の日程でも受けられますが、文化祭はそういうわけにはいきません。

編集後記

9月26日号をお届けします。

だんだん秋めいてきました。

これからしばらく小学校も忙しくなるでしょう。特に6年生は最上級生としていろいろやらなければいけないが増える時期です。

運動会は夏休み前に動く学校が多くなりましたが、秋にやる学校もあるでしょうし、展覧会、学芸会、音楽会。そういう練習をしなければならない部分もあるでしょう。

でも、やはりこれはこれでしっかり取り組んだ方が良いのです。その方が切り替えがはつきりする。

無理に受験のために練習を休ませたりすれば、子どもたちの世界の中でうまくいかないことが起きてしまう可能性もあります。それよりは切り替えをはっきりして、勉強するときは勉強する、学校のことをやるときはしっかりやる方が子どもの成長にはプラスになります。

受験生でもあるが、その前に小学生であるということも忘れないでください。

今回も読んでいただいて、ありがとうございました。

次回は10月12日配信の予定です。

田中貴 無料学習相談

無料の学習相談も承っていますので、お子さんの学習でお困りのことがありましたら、お問い合わせください。

学習相談は中学受験について、すべて承っています。

中学受験 田中貴.com

お問い合わせフォーム

<https://tanakatakashi.com/toiawase>

田中貴 映像教材のご案内

子どもたちが難しい、というテーマを取り上げて、基本から問題演習まで詳しく解説した映像教材です。すべての教材に動画授業とテキストがセットされています。

繰り返し勉強できますし、タブレットでもお使いいただけます。

田中貴指導 中学受験「これでわかるシリーズ」はこちらから

<https://www.hougakkan.com/books/archives/2257>

有料メルマガのご案内

週刊田中貴通信を発刊しています。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mag2.com/m/0001534770.html>

田中貴.com

mail info@tanakatakashi.com
URL http://tanakatakashi.com
購読の中止はこちらから
http://tanakatakashi.web9.jp/1/magazine

このメールが迷惑メールフォルダーに入ってしまう場合は、
以下の方法で、メールサービスの設定を変更なさってください。

- ・「迷惑でない」などのボタンを押す(メールシステムによって異なる)
- ・アドレス帳に送信元のアドレスを登録しておく